

研究課題名：婦人科がん診療の現状**1. 研究の対象**

2015年10月から2022年3月までに院内がん登録実施施設を受診し子宮がん(頸部・体部)・卵巣癌と診断された方。(全国のがん診療拠点病院を中心とした院内がん登録実施施設の中で国立がん研究センターにおいて既に実施中の「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究(課題番号:2013-081)」への協力施設から子宮がん(頸部・体部)・卵巣癌と診断された患者さんに関する検査データの提供を受けます。)

2. 研究目的・方法

研究目的：子宮がん(頸部・体部)・卵巣癌の患者さんに対するがん診療の実態を明らかにすることで、適正ながん診療の向上に寄与することを目的とします。

研究方法：本研究では、子宮がん(頸部・体部)・卵巣癌と診断された患者さんに対する診療を、院内がん登録とDPCデータを用いて評価します。

3. 研究期間

当院研究研究許可日～2027年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では情報として院内がん登録とDPCデータを用います。このデータには、個人識別情報は含まれませんが、性別、生年月日、がんの診断年月日、施設名、入退院年月日、診療明細、併存症などの基礎状態情報、受けた医療の内容等が含まれます。

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

全国の院内がん登録実施施設から収集され、毎年国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部に蓄積されている、院内がん登録データとDPCのリンクデータを利用する。本研究を行うのにあたり、各施設から追加で収集するデータはない。

6. 外部への試料・情報の提供及び公開

院内がん登録の専用番号と個別の患者氏名など個人識別情報との対応表は、データ提供施設で管理されており、研究組織において触れることはありません。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者により個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。個票データの外部機関への提供は行いません。外部への成果の公表は、学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われ、がん対策の充実あるいは医療の質の向上を目的とした学術研究に活用されます。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのための報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わず、かつ特定の個人が発表成果から同定で

きないように十分に配慮されます。

7. 研究組織

国立がん研究センターがん対策研究所 医療政策部 東 尚弘
山形大学医学部 産科婦人科学講座 永瀬 智
東京大学医学系研究科 社会医学専攻 公衆衛生学教室 東尚弘
埼玉県立がんセンター 婦人科 河田啓

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には当該試料・情報の利用・提供を行いません（利用・提供を停止します）ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL：048-722-1111／FAX：048-722-1129

埼玉県立がんセンター 婦人科 河田 啓（研究責任者を兼ねる）

研究代表者：

国立がん研究センターがん対策研究所 医療政策部 東 尚弘